

○ この大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則に従って競技運営を行う。

全日本中学校通信陸上競技大会の主旨

都道府県ごとに陸上競技大会を行い、その成績を日本陸上競技連盟に集め、種目ごとに全国順位をつける通信競技大会とし、陸上競技の正しい普及と発展のために、この大会を通じて、中学生の精神的・身体的な正しい訓練を助成するものである。

大会規則及び競技者・指導者の注意事項

1. 招集（コール）

- (1) 招集の時間は ①トラック競技の予選は開始予定時刻の40分前～20分前 ②トラック競技の準決勝・決勝は30分前～15分前 ③フィールド競技は60分前～40分前とする。
- (2) 招集所においてナンバーカード・スパイク等の最終点検を受けて第4ゲートより入場する。入場は全て競技役員（補助員）の誘導による。招集時刻に遅れた者は棄権とみなして出場を許されないので、特に注意する。氏名に誤記載があった場合には、朝の学校受付の際に正しく訂正する。
- (3) リレー競技は、朝の学校受付にてオーダー用紙とオーダー変更届を受け取り、必要事項を記入して1組目の招集完了時刻の90分前までに招集所に提出すること。提出時刻に遅れたチームは棄権とみなして出場を許されないので、特に注意する。メンバー変更については、競技規則170条10を適用する。
- (4) 四種競技は、その日の1種目のみ招集を行い、次の種目以降は、直接競技の場所に集合して点呼を受けること。四種競技では、1種目でもスタート・試技をしなかった場合は、それ以降の種目に参加することはできない。
- (5) 朝の時点で欠場が決まっている者については、欠場届を朝の学校受付時に提出すること。尚、その後怪我等で欠場する者が出了場合には、本人または代理人が招集所に、招集完了時刻までに欠場届を提出すること。
- (6) 招集所は、第4ゲート（200mスタート付近）の外側に設ける。

2. レーン順・試技順

トラック競技のレーン順及びオーダー（スタート時の整列順）は、プログラム記載の○数字のとおり、フィールド競技の試技順は、上から下の順序とする。

3. 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。ただし、男女四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートをした競技者は、すべて失格とする。なお、競技規則第162条5は適用しない。
4. 800mは、第1曲走路終り付近のブレイクラインまで、決められたレーンを走らなければならない。左のレーンに入ったり、ラインを踏んだりしたときは失格となる。
5. 男子3000mはグループスタートとする。また、第2グループのスタートラインから10m程度は代用縁石を設置しない。
6. 予選を通過し、その種目の次のラウンドに出場しなかった競技者は、他の種目に出場することを認められない。
7. バーの上げ方（天候などの状況によっては、変更する場合もある。）
 - ◇走 高 跳（走高跳は、2グループに分けて行う場合がある。）
 - 男子：練習 1m55/1m60-65-70-75-78-81-84・・・以降3cmずつ
 - 女子：練習 1m30/1m35-40-45-48-51-54-57-60・・・以降3cmずつ
 - ◇四種競技走高跳（上げ幅は変えない）
 - 男子：練習 1m25/1m25-30-35-40-45-50-55-58-61・・・以降3cmずつ
 - 女子：練習 1m10/1m10-15-20-25-30-35-38-41・・・以降3cmずつ
 - ◇棒 高 跳
 - 男子：練習 2m40/2m50-60-70-80-90・・・以降10cmずつ
 - 女子：練習 1m80/1m90-2m00-10-20-30・・・以降10cmずつ

8. その他

- ①トラック競技の出場者（リレーの第4走者）は、プログラムの○数字と同じ腰ナンバーカード（シール）を招集所で競技者係から受け取り、パンツの左右横、やや後方に付けること。なお、安全ピンは各自で用意すること。
- ②選手は、第4ゲートからのみの入退場とする。トラック競技のフィニッシュ後は、バックストレート側（競技場内）を回って自分の荷物を取りに行き、第4ゲートから退場すること。その際、競技進行の妨げにならないように注意し、競技役員の指示があった場合は従うこと。
- ③スパイクの長さは9mm（走高跳は12mm）を超えてはならない。
- ④ナンバーカードの数字は、読み取りやすいようにはっきりと書き、胸と背にしっかりと付けること。走高跳、棒高跳および走幅跳の競技者は、背または胸に付けるだけでもよい。
- ⑤大会運営に支障をきたすので、トランシーバーの使用を禁止とする。
- ⑥新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から声を出しての応援は禁止とする。観戦時はソーシャルディスタンスを確保したうえでマスクを着用すること。
- ⑦スタンド最前列や通路で立ち止まってる観戦は禁止とする。
- ⑧メイン競技場への「のぼり旗」及び「応援横断幕」の設置については対仗・バックスタンド最上段手すり部分のみとする。
- ⑨ウォーミングアップについては『県通信陸上練習会場の使用について』を遵守し、事故のないように行うこと。
- ⑩選手の競技場内への入退場については、第4ゲートのみとする。（朝の練習開放時間帯は第1・2ゲートも開放する。）